

# 会 議 録

<開催日>平成20年11月10日(月)  
<時 間>9:30~12:20  
<場 所>岸和田市職員会館3階会議室

<名 称>平成20年度 第3回岸和田市協働のまちづくり推進委員会

<出席者> は出席、 は欠席

松端	望月	室田	米川	深野	中野	稲富	中川	和田	上野	泉原	西川	谷川	荻野	白木	大多

事務局)西川企画課長、梶野主幹、松阪、陣川

<議 題>

- 1、市民活動サポートセンターについて  
実際の活動状況  
意見交換
- 2、(仮称)岸和田市協働のまちづくり市民活動支援制度について  
ワーキング会議(案)の報告  
意見交換(グループワーク)
- 3、その他  
委員の情報交換・意見交換  
次回以降の日程確認

<概 要>

## 1、市民活動サポートセンターについて

実際の活動状況(中野委員より池田市の活動紹介)

- ・大阪府池田市では、平成13年3月に「池田市公益活動促進に関する条例」が制定され、その条例により、池田市が「池田市立公益活動促進センター(通称:いけだNPOセンター)」を設置した。
- ・なお条例については25名の市民が集まり、市民会議で検討してきたが、引き続きNPOセンターの中身についてどんな施設・機能が良いかを利用者の立場から検討した。
- ・平成13年5月には、池田市公益活動促進協議会(利用者団体で組織)が、池田市より委託を受けて、管理運営を行うことになり、7月に開設した。
- ・NPOセンターの役割は、各種団体や人とのつながりの場、助成金(企業、財団など)に関する情報の提供、スキルアップのための各種講座(NPO人材育成講座、NPO法人会計講座など)の開催、行政職員向け研修の開催(市から委託)などである。こういった事業を通じ、市民力の向上を目指した。
- ・それ以外にも、不要な物品の需給調整、発足間もない市民団体の支援(市民団体の創出・発展、如何に活動を広げていくかといったアドバイスなど) 広報誌の発行(委託事業)も重要な仕事である。
- ・岸和田市にとって、こういった機能があれば助かるのかを検討していくべきではないか。

### 【意見交換(要点筆記)】

委 員: NPOセンターとボランティアセンター(社協)の関わりは如何。

委 員: 池田市にもボランティアセンターは設置されている。両社の棲み分けは明確ではない。公益活動を行っている団体は利用可能であり、制限はしていない。その点言えばボランティア団体も登録可能である。

会 長: ボランティアセンターは社協の管轄になっているので、福祉系ボランティア団体が中心になっている。岸和田市の場合、ボランティア連絡会の事務、個人ボランティアの需給

調整を行っている。

- 委員：管理運営しているNPO（池田市公益活動促進協議会）の給料はどうなっているのか。
- 委員：行政（市）からの委託料の中に入っている。事務所には専従スタッフがあり、そこで情報交換が出来たり、他団体同士が交流を図ることも出来る。また助成金情報も手に入れることが出来、非常に喜ばれている。
- 委員：スタッフは何人位なのか。
- 委員：会長、副会長も含めて10人前後である。事務所には専従スタッフが常駐している。19時以降は、シルバー人材センターから人を雇っている。
- 委員：池田市公益活動促進協議会の会員はどうなっているのか。
- 委員：個人会員もあるし、団体会員もある。個人会員の場合、年間費は3,000円である。
- 委員：岸和田市のボランティアセンターの場合、事務所と同じ部屋の中に、印刷機、コピー機が設置されており、サポートセンターとしての機能は果たしていると思う。また最近では福祉系ボランティア団体に限らず、環境関係のNPOもボランティアセンターに登録している。
- 委員）NPOセンターを設置する場合、ボランティアセンターに近い方が良いと思う。両者間でも情報の共有を図ることが出来る。
- 会長）岸和田市ではボランティアセンターは福祉センターの中に設置されているが、そちらの方（福祉センター建替え）の進捗はどうなっているのか。
- 事務局）現在は実際には進んでいないのが現状である。市民活動サポートセンターは、これまでも望まれていた施設であり、今後の市民活動を考えていく上で、非常に大きな役割を持っていると認識している。ただ建物だけでなく、併せて運営方法についても検討が必要である。岸和田市にあった機能をもった市民活動サポートセンターが必要である。ただ財政状況が非常に苦しい中で、新たな施設の建設は困難である。他の方法（空き施設、民間施設の活用など）も視野に入れながら、検討していきたい。他市では民間の空きビル、商業施設の一角、廃校になった小学校などに開設している場合もある。
- 委員）池田市の場合、N T Tの空きビルの中にNPOセンターがある。
- 委員）商業施設の場合、法律の規制（建築関係）等もありその点をクリアしなければならない。
- 会長）市民活動サポートセンターについては、引き続き検討課題であるので、各委員においても情報を収集しておいていただきたい。そういった情報があれば事務局まで連絡していただきたい。

## 2、（仮称）岸和田市協働のまちづくり市民活動支援制度について

ワーキング会議（案）の報告（荻野委員より）

- ・ 市民活動の活性化（新たな市民活動団体の創出、市民活動団体の活動充実）を目的に、市民活動団体が行うまちづくり事業の実施費用の一部を行政が支援する制度である。
- ・ 応募出来る団体は、事前に登録してもらう。受付は企画課で随時行う。
- ・ 支援金の区分は、初期活動型（市民活動団体の創出）、活動発展型（市民活動団体の活動充実）とし、事業支援とする。
- ・ 選考方法は、原則公開選考会を開催する。ただし 初期活動型は書類審査とする。
- ・ ワーキング会議で議論したが、まだ課題もあり、今後も検討が必要である。

### 【意見交換（要点筆記）】

松端会長：支援制度については前回の委員会から議論しており、本日の会議までの間、ワーキング会議で精力的に検討いただいた。この間、先日（10月17日）「補助金等及び市民活動団体事務局の在り方検討委員会最終報告」を市長に提出した。その中では今回のワーキング案にもあるようにプロポーザル方式の導入、補助金の上限、周期についても述べている。今後、この最終報告を市が受け入れるか受け入れないかの議論はあるが、本委員会として新たな支援金制度を検討してきたところである。課題もまだ多くあるが、本委員会で検討していただきたい。

<グループワーク>

各段階に分け課題の抽出等を行った。

メンバー・出された意見は以下のとおり（そのまま記述）

	A班：白木、上野 和田、米川	B班：泉原、中川 深野、（荻野）	C班：中野、稲富 西川、大多
申請する前に （団体の事前登録など）	活動場所岸和田市に限定	初期の段階のグループの発掘 支援制度をどうPRするか。広報・HPで常時わかるようにする。回覧板などに定期的に制度についてPR。 市民がどんなことを考えているか、情報を共有できるような手立てを考える。 市民活動団体の創出・発掘につながる こんなグループがたくさん出来ると市民活動が活発になる。	門戸が広い 広すぎるか 類似団体 類似事業 まだこれからの団体は名簿も会則もない 初期の団体～活動暦のある団体まで データベースが2つも3つも出来るのでは。 協働を要件 特色であるが、それ以外の団体を排除？ 岸和田市で活動。岸和田市のまちづくり 団体の登録は支援金制度を利用する、しないに関わらず、全ての団体が行うのか？支援金をもらいたい人だけでOKか？
支援の内容(区分、金額、継続など)	初期型はフリーパス？のつもりで	初期型は1回限りで育つか？ お金のみでなく別のサポートが必要ではないか。 金額だけの支援ではなく、モノ・ヒトの支援もあった方が良い。人材バンクとの連携	初期活動型 何年までか明確に その事業に限定（パソコンなど）
選考の方法(プレゼン、委員会、選考基準など)	活動型別に投票 選考委20人ぐらい 落ちた理由は言わない	応募が多くなった場合はどうするか。そのときに考える。	
その他(事業報告会、協働パートナーなど)	報告会はOK 協働パートナーは必要	協働パートナーの顔がわかるようにする。 1～2人とマッチングして団体を育てる。 イケてるタイトルをつける ・ この指たかれ！ ・ 助けて欲しい人手を上げる！	

出されたポイントは以下のとおり。

申請する前に

- ・ 活動場所は岸和田市内に限る。目的を明確にする。 審査段階で判断
- ・ 団体登録した場合、1年更新制などが必要（団体の把握、監視）
- ・ 類似事業、類似団体の場合、審査会で調整する。

支援の内容

- ・ お金だけでなく、他のサポートが必要 協働サポーターか？将来的にはサポートセンター
- ・ 事業を実施するにあたって欠くことのできない備品は入れる。ただしルールは必要（ボランティアセンターの場合、3年以内につぶれたら備品を返還する）
- ・ 不適切な会計処理の場合 協働パートナーの役割大
- ・ 事業の場合、実施期間を明確に！

#### 選考の方法

- ・ 選考委員は20名。
- ・ 受かった理由を明らかに。大阪市の場合、4委員の点数制。低い時はコメント（企画、公益性など）を相手に伝える。こうすれば全体的にレベルアップしていく。
- ・ 基準をオープンに。

#### その他

- ・ 報告会は負担感を少なく。写真やポスターでの報告も可。
- ・ 協働パートナーに何をどこまで求めるか。
- ・ 初期団体には協働パートナーは必要。
- ・ 名称はインパクトのあるものを！サブタイトルに今の仮称を

松端会長：本日出された意見を一旦事務局で整理の上、必要があれば再度ワーキング会議、本委員会で検討いただきたい。必要があれば随時メーリングリストを活用し、意見を集約していただきたい。

### 3、 その他

#### 情報提供

- ・ にゅーとぴあ岸和田（岸和田市国際親善協会だより）：米川委員
- ・ ボランティアだより岸和田：深野委員
- ・ 岸和田女性会議20周年記念講演（11月16日開催）：中川委員
- ・ かしましフェスティバル（12月7日開催）：中川委員
- ・ 私の生活（くらし）と政治：中川委員
- ・ わだい浪切サロン：事務局（企画課）
- ・ 行ってトクするまちづくり講座：事務局（企画課）

次回の日程：2月16日（月） 9：30～12：00（最大12：30）

開催場所は未定（事前に案内する）

なお11月25日（火）に予定していたワーキング会議は中止